

母のバトンを受けとめる



私の母、永元すま子は立川市議会議員として4期16年、みなさまに支えられて活動してきました。今期をかぎりにも勇退し、そのバトンを娘である私、永元きょう子が受け継ぎます。

私が母を尊敬するのは、我慢強く、一步一步焦らずに着実に進むこと、そして何よりも「困っている人をほっておけない」と動くスピードです。

地域を回ると「お母さんにはすごくお世話になりました」と挨拶されることもしばしばあります。自分もこれだけ信頼されるようになれるだろうかというプレッシャーはありますが、私は私らしくがんばりたいと思います。

永元きょう子さんを推薦します

琵琶奏者:	小林 桜蘭
元RCサクセッション・ベーシスト:	小林 和生
米国弁護士:	椎名 葉

永元きょう子さんと力をあわせてがんばります



参議院議員(東京選挙区)

山添 拓

ウクライナ危機に乗じた「戦争する国づくり」を許さず、行き過ぎた新自由主義を転換し「やさしく強い経済」をつくります。市民の命と暮らしを守る先頭に立ってきた立川市議団と力をあわせてがんばります。

コロナや物価高騰からくらしをまもるひきつづき5名の市議団を!



(左から)若木さなえ、中町さとし、永元きょうこ、上條彰一、浅川修一の各氏

あなたのお力をお貸しください

●宣伝活動にご協力ください

ポスターの掲示、ビラやリーフレットの配布活動にご協力ください。街頭演説への手ぶりも励みになります。SNSでの発信・拡散もぜひお願いします。

●お友だちをご紹介ください

つながりを生かして、お友だちやお知り合いに支持を広げてください。紹介していただける方がおられましたら、ぜひお知らせください。

●募金もおねがいします

企業・団体献金、政党助成金に依存しない日本共産党を支えてください。募金は郵便振替やネット(東京都委員会 HPから)でも受け付けています。

永元きょう子事務所

- 若葉町1-12-4
- 042-535-8443

活動地域

若葉町
幸町
柏町
泉町



文化と働く人を大切にする
ジェンダー平等の立川へ



母・永元すま子市議からバトンタッチ

党立川ジェンダー平等対策責任者(市議予定候補)

永元きょう子

ながもと 香こ

プロフィール★1972年立川市生まれ。旧若葉小、立川9中、都立拝島高校、和光大学人文学部卒★元くにたちダンスコレクション副実行委員長★トルコのアクヒサル市、イスタンブール市にて日本人で初めて「日本文化祭」演出。★ダンススタジオ経営・講師15年・振付師。★2021年都議会議員選挙(昭島選挙区)「市民と野党の共同候補」★若葉町在住★趣味は温泉めぐり・ドライブ・映画鑑賞・ヨガ



<https://twitter.com/kyoko8129>



日本共産党



日本共産党立川市委員会が永元きょう子さんの政策と見解を発表しました
2022年5・6月号外 発行 立川民報社 立川市上砂町3-20-1

永元きょう子



「生まれ育った立川で、人を助ける仕事をしたい」

日本共産党の市議として日夜駆け回る母と、生前、労働組合役員として働く人を守るために奔走し

ていた伯父の姿が私の原点です。

ダンスの講師やスタジオ経営を15年間続けてきました。コロナ禍のいま、文化と働く人の大変さを肌で感じています。

私は、多様な文化が息づき、働く人を大切にするジェンダー平等の立川市をめざします。

市の女性管理職を10%台から30%へ、保育・福祉・介護職員の待遇改善、公契約条例で最賃1500円への流れをすすめ、女性も男性も8時間働けばまともに暮らせる環境を。

みなさんの願いを、私に託してください。



市政にチャレンジ 3つの目標

1 だれもが自分らしく輝いて 生きられる立川

女性として表現者として、ときには悩みながら、自由と喜びを追い求めてきた情熱と行動力で、文化とジェンダー平等の「ふるさと立川」を！

2 働く人たちを大切に

障がい者施設や派遣会社で働き、学んだこと、分かち合った思いを、いまこそ政治の改革にぶつけます！

3 交通不便の解消など 地域の声をまっすぐ市政に

総額 114 億円の立川駅前デッキの延長より、「危険な通学路が心配」「通院・買い物が大変」など、市民の声にこそ応える市政を！



武蔵野の自然の美しさが残る美しい街並みを守りたいと思います。この間、地域をまわって、みなさんから、さまざまな要望をお聞きしています。

- ・昔はきめ細やかにまわっていたくるりんバスがいまは削減されているのでぜひ再開を
- ・五日市街道の歩道の修繕を
- ・認可保育園や学童保育をもっと増やして
- ・図書館には司書の配置を

こうしたひとつひとつの声に応えるところから始めていきたいと考えています。